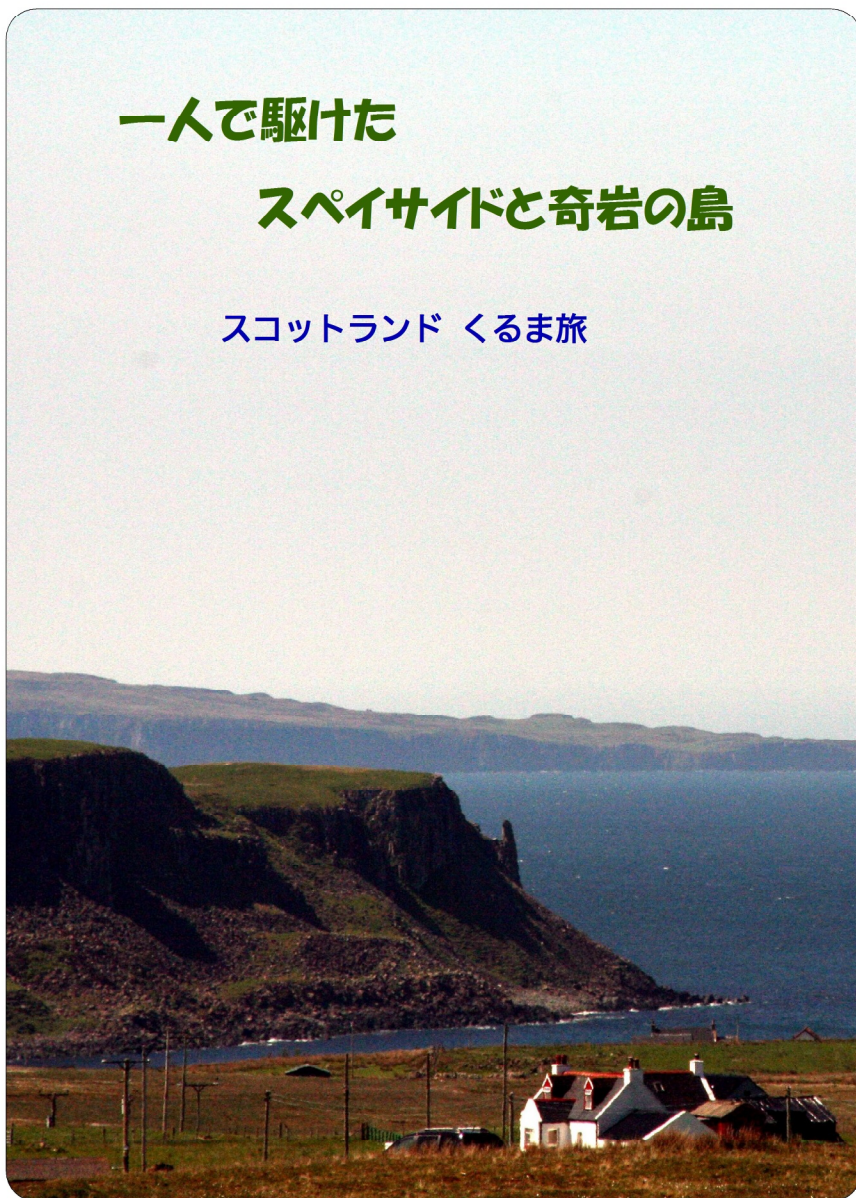


一人で駆けた
スパイサイドと奇岩の島

スコットランド くるま旅



岸田 和文

はじめに

私が40代半ば（1995年）頃か、たまに会社の飲み会の後にJazzが流れるショット・バーへ行くようになった。飲むのは CUTTY SARK、

Early Timesなど安い銘柄だった。今でこそ、「Single Maltをシングルで」みたいなことも言えるようになったが、当時は、Single Maltの何たるかも知らなかった。そんな私にSingle Malt（シングル・モルト）という言葉を意識させたのはカーラジオから流れるCMだった。それは土曜日の午後5時に始まる、お洒落な番組「Suntory Saturday Waiting Bar “AVANTI”」だ。その中で音楽にのって流れていたのが、“Single Malt Whisky、THE MACALLAN” というフレーズだった。

その蒸留所はスコットランド（Scotland）の山の中にあるとのことだった。当然のことだが、その頃は、自分がそこへ行くことになるとは思いもしなかった。

それが、50歳を迎える頃に、急に海外が身近になった。2000年2月に初めて一人で米国へ行った。英会話も始めた。年に1回の海外への一人旅も始めた。2005年にシカゴへ行ったときには、よく英会話を学んだ人が言う「英語脳に切り替わる」という体験をした。野外のブルース・フェスティバルの会場で流れていたアナウンスが、スーっと脳に英語のまま入ってきたのだ。この体験は、私に自信を与えた気がする。英語の語彙力は、まだ未熟だが「英語耳」のベースは出来たかなと思った。これで英語圏の都市部だけでなく、地方にも行ける気がした。

そういう妙な自信もでき、2007年の8月末にニューヨーク経由でカナダのプリンス・エドワード（Prince Edward）島へ行った。このとき初めて海外の地を車で旅をした。この経験で海外でドライブすることに対し少し自信ができた。

すると以前から気になっていたある場所へ行ける気がした。そう、スコットランドの山奥だ。

英国へは、2002年に初めての海外ツアーでロンドンとリバプールへ行ったのが最初だった。その時は日帰りの現地ツアーを利用して、ロンドンからストーン・ヘッジ（Stone henge）とバース（Bath）へ行った。その途中、バスの窓から見える丘や畑の景色の美しさが、印象的

だった。他にも英国には、コッツウォルズや湖水地方など、行ってみたい場所が多い。なので英国の特集をしている雑誌や単行本は、たまに買っていた。でも、その手のガイド本は概して高級ホテルや由緒ある建物を使ったマナーハウス、高級レストランの紹介が多い。私に「ここへ行きたい」と思わせる程のインパクトを与えてくれる本にはなかなかお目にかからなかった。

ある日、TSUTAYAで手にした「プラチナ サライ」（サライ増刊、2004年12月18日号）の「英国の田園を旅する」という内容には興味をそそられた。なかでも目を惹いたのはゴツゴツした尖んがり帽子のような岩山（Old man of Storr）の画像だった。

強烈な印象を受けた。私は登山に興味がある訳でもないのに、なぜかわからないが、ここへ行ってみたいと思った。

その岩山があるのはスコットランドの北西部に位置するスカイ（Skye）島だ。初めて目にした地名だった。

これで、スコットランドへの旅のコンセプトは決まった。「Scotch Whiskyと奇岩の島への旅」だ。

実際に行った先は、エジンバラを除き以下の3カ所。

- ・ハイランド（Highland）地方のスペイサイド（Spey Side）.
- ・スカイ島（Isle of Skye）
- ・フォート・ウィリアム（Fort William）

現地での滞在は実質7日間だった。そのうち5日間はレンタカーで移動した。一人のドライブは苦勞した。特にラウンドアバウトだ。どこで抜け出ればいいのか判断に迷うことが多かった。標識があっても見る余裕がないからだ。そして、ハイランド地方やスカイ島へのルートでは、建物は殆ど無く、単調な道が続くだけで、集中力を保つのに苦勞した。スカイ島からエジンバラへの帰路は不思議と余裕があり、車を止め、綺麗な景色を眺めたり写真を撮ったりした。

この旅も、私にとって思い出深い旅の一つとなった。

なお、内容は、Blogに掲載した内容に手を加えた日記風となっている。

1 スコットランドといえばウイスキー

はじめに

- 1、旅の下調べ 10
- 2、アイラ島にも行ってみたい 12
- 3、シングル・モルトを飲んでみる 13
- 4、アイラ島行きは断念 15
- 5、宿探しは難航 17
- 6、出発まであと3日 19
- 7、出発 21
- 8、エジンバラの中心部へ 23
- 9、レンタカーを調達 27
- 10、一路 Craigellachieを目指す 31

2 ハイランド地方を巡る

- 11、Spey Side に到着 34
- 12、Spey 川 39
- 13、Dinner を求めて 43
- 14、朝食は山盛りのサーモン 47
- 15、MACALLAN 蒸留所へ 48
- 16、Inverness へ 53
- 17、Ness 湖へ 60

18、Fort Williamへ	62
19、Loch Shiel	65

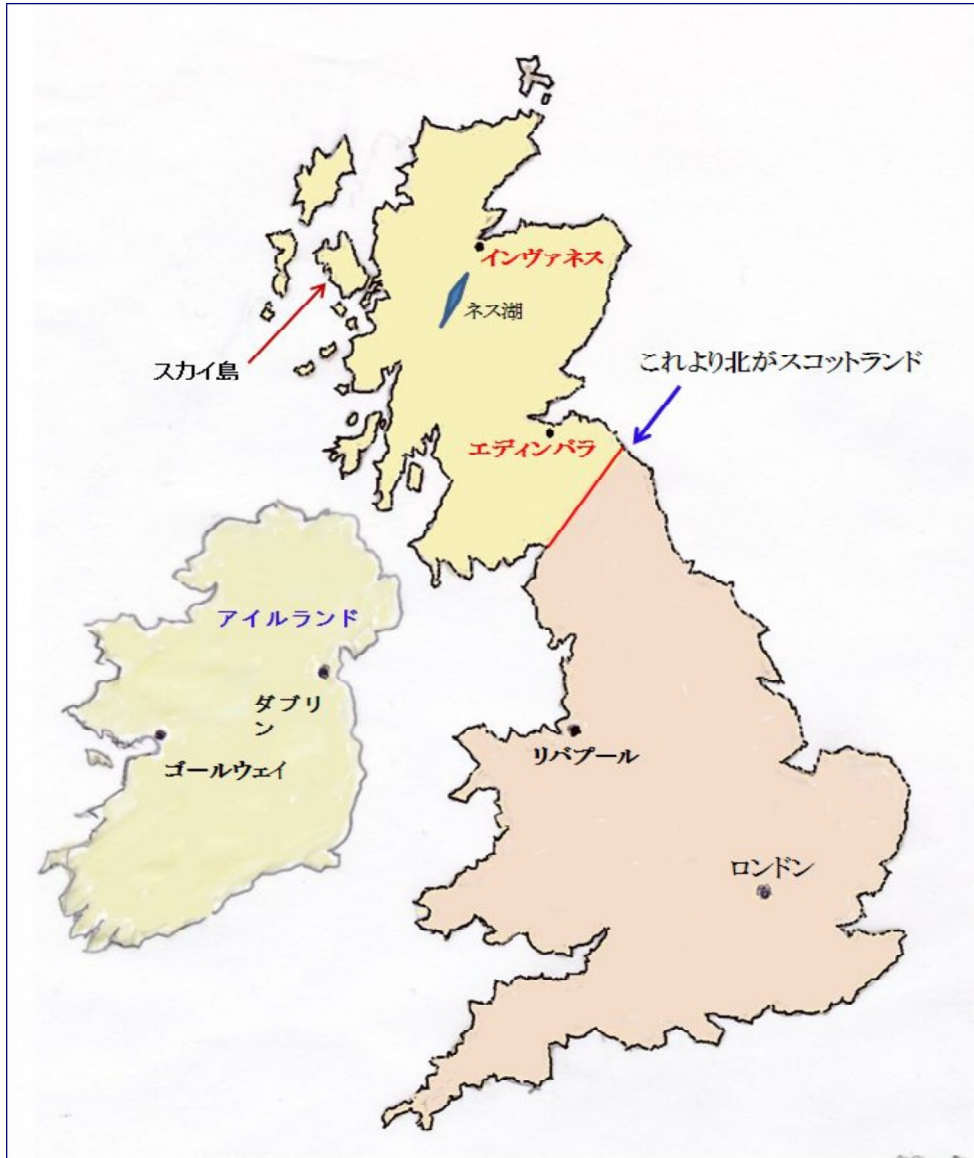
3 疲れた、山越えのドライブ

20、一路 Skye 島へ	69
21、Skye 島に到着	72
22、港町 portree	74
23、Old Man Of Storr へ	77
24、名前もわからない断崖	91
25、Old Man Of Storr に登る	96
26、Portree へ戻る	103
27、Skye 島にさよなら	106

4 豪華な部屋でのんびりと自炊

28、エジンバラに到着	112
29、Apartment をレンタル	113
30、Edinburgh 城へ	119

あとがき



国 旗

スコットランドは、ご存じのとおり、英国を構成する4つの国のひとつ。

- ・首都： エディンバラ
- ・人口： 約530万人
- ・通貨： スターリング・ポンド

旅程

5月20日(火)

成田 -> Frankfurt 9:35発 14:15着 飛行時間: 11:40

Frankfurt - Edinburgh 16:35発 17:30着 飛行時間: 1:55

宿泊: Grassmarket Hotel

住所: 94-96 Grassmarket Edinburgh EH1 2JR U.K

5月21日(水) 車をレンタルしてSpeysideへ

宿泊: Speybank Bed and Breakfast

住所: Leslie Terrace, Craigellachie, Morayshire AB38 9SY

<http://www.speybank.co.uk/>

5月22日(木) 午前中、マッカラン蒸留所見学。

その後Invernessへ向かう。

宿泊: Castle View Guesthouse

住所: 2a Ness Walk Inverness Inverness-shire, Scotland

<http://www.castleviewinverness.co.uk/>

5月23日(金) Ness湖畔を走り、Wortwilliam、Grenfinaを経由して
Skye島へ。

5月24日(土) Old Man Storrへ

宿泊: Woodlands B&B Viewfield Road

住所: Portree Isle Of Skye, IV51 9EU Scotland

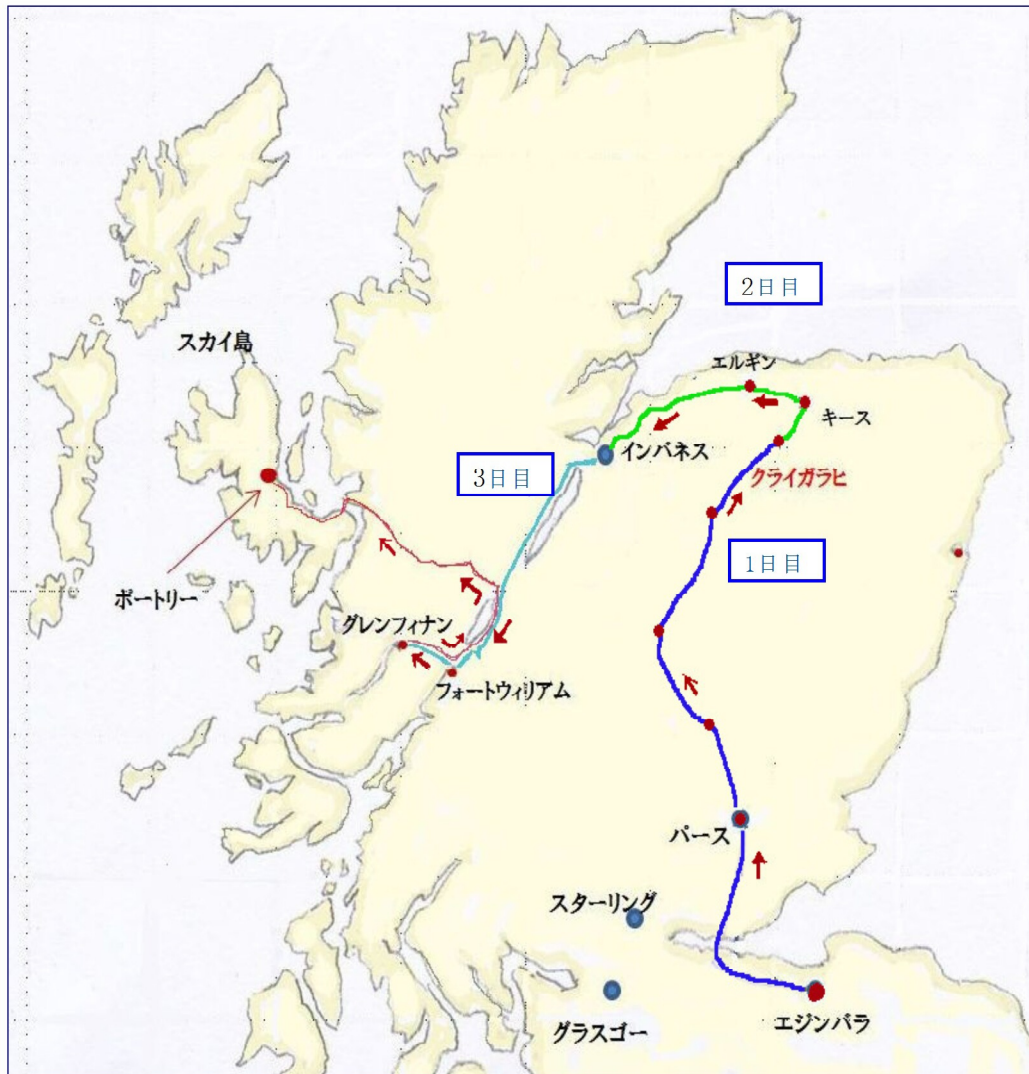
5月25日(日) Skye島からEdinburghへ向かう。

5月26日(月) Edinburgh城近辺を散策

宿泊: James Court Apartments Edinburgh

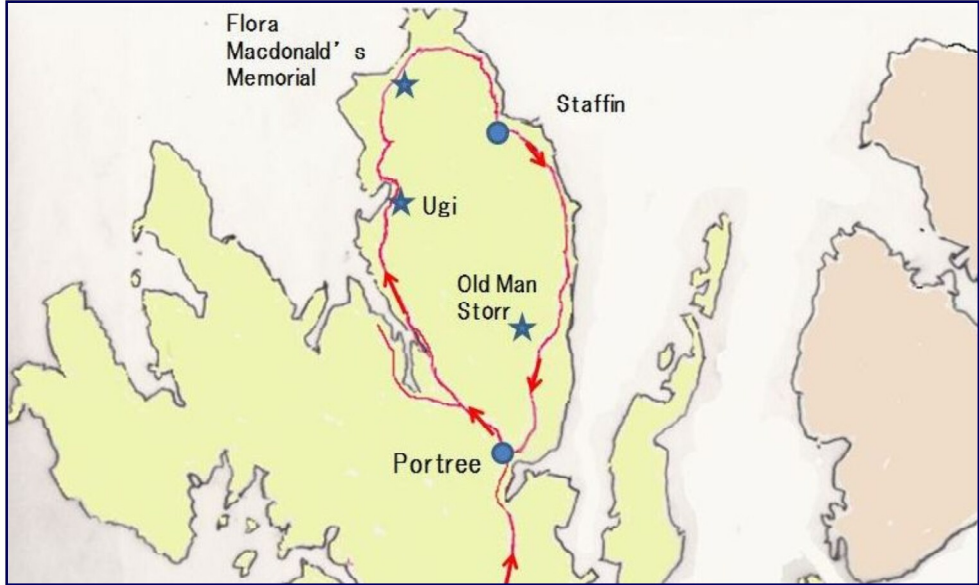
住所: 3 James Court 493 Lawnmarket Royal Mile Edinburgh

5月27日(火) Edinburgh -> 成田へ



ドライブ 1日 - 3日目 (5月21日 - 23日) の経路

- (1) エジンバラからバースを経由して Speyside地方へ向かう。
(クライガラヒ泊)
- (2) クライガラヒ近郊のマッカラン蒸留所を見学し、インバネスへ。
(インバネス泊)
- (3) インバネスからネス湖の脇を走り、フォート・ウィリアムを経由して、グレンフィナンへ行き、そして一気に山岳地帯を走り、Skye島のPortreeへ向かった。このときの山越えは、私の人生でもっとも、しんどいドライブになった。



島へ着いた翌日は島の北部を一回りした。



Skye島からエジンバラへの帰路

こうして地図を見ると、1日の走行距離が一番長いようだ。
山岳地帯では、綺麗な風景にも出会えた。

1 スコットランドといえばウイスキー

1、旅の下調べ

2008年4月22日

4月も下旬を迎え、ようやく仕事もいつものペースに戻り、残業することもなくなった。私にとって年に一度の旅のことを、そろそろ具体的に考え始めても良い頃だ。時期としては夏の終りというのがベストだ。だが今年は8月の下旬にまとまった仕事が入りそうな気配だ。そうなるとその準備は6月半ばには始めることになるだろう。なので、その前に旅の期間を設けなくてはいけない。ということで航空運賃も比較的安い、5月下旬から6月初旬にかけて旅行することにしよう。今回の行先はスコットランドと決めた。まずは航空券の手配が先決だ。

Netで調べてみると最安値はタイ国際航空だ。2年前にアイルランドへ行ったときはCathay Pacific航空を使った。それに比べると少し面倒だがタイ国際航空の方が俄然安い。燃油サーチャージがなければ驚くような価格だ。タイ空港で10時間近く待たなければならないが、よしとしよう。問題は、その航空券が今から取れるかということだ。

今回の旅の一番の目的地はスカイ (Isle Of Skye) 島だ。有名な奇岩、奇山があるという島だ。

ピーター・ラビットで有名な湖水地方やエジンバラ (Edinburgh) にも寄ってみたいと思っているが具体的な計画はこれからだ。

昨夜、いろいろ調べた結果、5月末よりも少し前の20日前後が席が空いていることがわかった。それで5月19日出発を前提に進めることにした。上の娘からは、パリかフランクフルト経由でエジンバラへ行くほうが良いのではとのアドバイスもあった。

確かにロンドンのヒースロー空港から1時間近くかけて地下鉄で市内へ移動し、更にEuston駅から列車で5-6時間かけて移動するよりも、エジンバラへ直行する方が、何かと便利なのかも知れない。それに湖水地方への移動も有利のようだ。

ということ、昨日までは、福岡発のバンコク経由、ロンドン行きというのが有力だったが、急遽、変更ということになりそうだ。熊本から羽田へ行って、成田へ移動し、前泊するのも結構しんどいことではあるが、バンコクの空港で10時間近くも待つのに比べたら楽かも知れない。

さて、次は、現地の宿探しだ。今回はエジンバラを除き全てB&Bを利用するつもりだ。まずは、今回の旅先の中で一番の都会であるエジンバラの宿をどうするか。「地球の歩き方」でも参考にしてリサーチしなくては。

Windermere も良さそうだ

2008年4月27日

成田発、フランクフルト経由、エジンバラ行きのチケットは娘夫婦の協力もありなんとか確保できた。それにしても燃料他の諸費用が55,000円とは。

今回の旅の目的地は、一応、二ヶ所あり、いわゆる湖水地方とブリテン島の北西の端に位置するスカイ (Skye) 島だ。7泊の予定。現地の到着が夕方だということと、帰りの便の出発が朝の7時ということで必然的に最低でもエジンバラに2泊することになる。昨年、取っておいた車の国際免許証がまだ使えるので移動は、車でもいいのだけど、果たして列車と比べてどちらが便利で、かつ経済的なのか。早急に調べてみなくては。

そもそもスカイ島へ行こうと思ったのは、オールドマン・オブ・ストール (Old Man of Storr) と呼ばれる、巨岩 (奇岩) を観たいと思ったからだ。ガイドブックには、この島はたいして大きくないので、日帰りでも充分と書いてあった。でも、1昨年行ったアイルランドの Inish Mor 島での失敗があるので、ここはやはり少なくとも1泊はしたいと思っている。となると湖水地方で2泊したとして、あと1泊をどこにするか。スコットランドに関して大して知識がないので、まだ決めかねている。Scotch whisky の本場であるハイランド (Highlands) 地方にも興味がある。歴史的な古城があるスターリング (Stirling) や innbanesu